



登録をお願いします！
LINE公式アカウント



発行所
東京土建一般労働組合三鷹武蔵野支部
東京都三鷹市上連雀7-33-8
電話 0422(47)9101
Fax 0422(47)9104
発行責任者 竹内 敦



7月23日、武蔵野スインクホールにて多摩東ブロック役員

7/23 戦争準備より憲法いかす社会を 多摩東ブロック役員で平和学習

員学習会を開催、八王子合同法律事務所の前野弁護士を迎え「戦争の準備ではなく平和憲法いかす社会を」と題して講演していただきました。

有事で組合活動の自由失う危険も

白神さんは、最初に安保3文書の内容にふれ「戦争協力が求められた場合、建設業も協力せざるを得なくなりま

す。また組合活動や署名活動など、自由を失う危険もある」と、とんでもない中身です。その危険性について話されていきました。また「命はたった一つ。だからどんな国とも

どんな理由があっても絶対に戦争はしてはいけない」という

沖繩のおばあさんの言葉を引



講師の前野優子弁護士

「新しい戦前」にさせないために 69行動、平和行進で市民へ訴え



猛暑の中元気に歩きました

7月24日、今年も核兵器のない世界を願って平和行進に取り組みました。はじめに武蔵野市役所協の公園にて西東京の行進者から引き続き、地域参加者に行きました。松下武蔵野市長、伊藤市議会議長からの連帯のあいさつ、原水禁世大会の参加者から抱負を

引き継ぎ、そこから三鷹市役所まで大変な猛暑の中での平和行進となりましたが、参加者全員元気に歩ききりました。また、三鷹武蔵野支部では日本政府へ核兵器禁止条約への批准を求める署名行動に毎月取り組んでいます。あ

広島・長崎に原子爆弾が投下され、また終戦から今年で78年目を迎えました。21年1月に核兵器禁止条約が発効され、これまでに92の国・地域で署名されるなど『核兵器のない世界』への歩みを進めてきました。私たち東京土建も「二度と戦争のための工事はしない」と毎月平和の取り組みを行っています。(2面に関連記事)



現場実態に市議から驚きの声

10月1日拡大中間決起 家族そろってよみうりランドへ

【組織部発】10月1日に拡大月間の中間決起集会として「よみうりランドBBQツアー」を開催します。普段忙しくて組合活動に参加できていない仲間にも「家族で参加を」と呼びかけ、大いに食べ交流しましょう。ご家族そろってご参加ください。



(写真は今年の交流会)

(詳細は毎月配布のチラシを参照)

- よみうりランドBBQ●
- 【とき】10月1日(日)午前8時~午後5時予定
- 【ところ】よみうりランドバーベキューJ-U-J-U
- 【参加費】大人3,000円 小人(小学生以下)1,500円
- ※フリーパス、BBQ代、バス代含む
- ※未就学児の参加は無料
- 【締切り】9月22日(金)
- 申込書に参加費を添えて支部までご提出ください。

三鷹・武蔵野主要会派と懇談

【賃金対策部発】7月11~14日にかけて、三鷹・武蔵野市議会2人以上の議員がいる全13会派と懇談を行い、支部からは島村委員長をはじめ四役・常任が参加しました。今回は、①公契約条例の制定の推進、②住宅リフォーム助成制度

の創設、③石綿含有の事前調査・除去費用の助成制度の3点について要請・対話を行いました。

また、石綿に関する事前調査・除去費用の助成についても、20万円近い調査費用がかかることや、役所が現場へ抜き打ち検査を行っている現状などを伝え、助成制度の創設を訴えました。



武蔵野の共産党との懇談



三鷹の自民クラブ・公明党との懇談

公契約条例の制定については、支部でこの間取り組んできた武蔵野市の公共工事の現場におけるアンケート調査の結果を示しながら、「市は法令遵守がされていると言っているが、実際には最低賃金が守られていないような働き方の人もいます」といった実態を訴えました。これに対しては各会派から「このような低賃金で働いていることに驚いた」「大変参考になった。議会でも活用させてもらいます」といった発言がされ、公契約条例の学習会についても参加に前向きな意見が出るなど、制定に向けて大きな一歩となりました。

どの会派とも有意義な意見交換を行うことができ、より良い関係を築くために今後とも継続した懇談に取り組んでいきます。

雑記林

▼先日三鷹市の
さんさん館で
行われていた原
爆の朗読に行っ
てきました。原
爆により、一瞬
にして家族や友
人、すべてを失った方達の悲
しみ、無念さといった被爆さ
れた方達の思いを、朗読者の
みなさんが心を込めて語って
いて引き込まれるような思い
でした。参加させていただ
き、このような取り組みを継
続されている朗読者の方達
に、心から感謝したいと思
います。▼広島と長崎に原爆が
落とされてから今年で78回
目の夏を迎えました。今や日本
人の90%以上の人が戦後生
まれとなり、当時の悲惨さを
知っている人は数えるほどに
なっています。その一方で、
ロシアのウクライナに
対する軍事侵攻では、ロシア
が核の脅威をちらつかせ、日
本では憲法9条を改正して自
衛隊の明記が狙われ、軍事費
5年間で43兆円を確保し
ようとするなど、世界の「分
断」はますます拡大しよう
としています。▼しかし、この
ような今こそ、本当の意味で
安全保障や「平和」という言
葉の持つ意味について、私
たちは考えなければならな
いのではないのでしょうか。そ
して、被爆者の方達が残され
た思いを決して忘れず、私
たちが引き継いでいかなけれ
ばならないと強く感じまし
た。



